

【結果公表】

弥富市立地適正化計画(案)に関するパブリックコメントの実施結果については、以下のとおりです。

|         |  |    |    |
|---------|--|----|----|
| 案件名     | 弥富市立地適正化計画(案)                                    |    |    |
| 募集期間    | 令和2年1月6日(月曜日)から令和2年2月6日(木曜日)まで                   |    |    |
| 担当課     | 開発部 都市計画課  |    |    |
| 募集結果の概要 | 弥富市立地適正化計画(案)に対する意見を募集した結果、1人の方から計5件の意見が提出されました。 |    |    |
| 意見提出数   | 持 参  | 0人 | 0件 |
|         | 郵 送  | 0人 | 0件 |
|         | ファクシミリ   | 0人 | 0件 |
|         | 電 子 メール  | 1人 | 5件 |
|         | 合 計  | 1人 | 5件 |

提出されたご意見等と市の考え方

| No. | 該当ページ         | ご意見・ご提言の概要  | 回答  |
|-----|---------------|---|---|
| 1   | 1-45          | 保育所800m圏域の図示が記入されていない。  | 保育所の800m圏域を図示します。   |
| 2   | 1-54～<br>1-55 | <p>【居住を誘導する区域(現状市街化区域)における人口密度】<br/>～人口密度は大幅に減少します。</p> <p>【医療施設】<br/>～となり、大幅に減少することが想定されます。</p> <p>【福祉施設】<br/>～となり、大幅に減少することが想定されます。</p> <p>【商業施設】<br/>～となり、大幅に減少することが想定されます。</p> <p>【公共交通沿線地域】<br/>～となり、減少することが想定されます。</p> <p>下線箇所の記載の使い分けについて、明確な基準を持って分けているのか。基準を示していただきたい。</p> | <p>明確な基準はないため、表現を統一します。<br/>(減少率を確認し、「大幅に」という表現を削除します。)</p> |
| 3   | 1-54～<br>1-55 | <p>【医療施設】<br/>医療施設徒歩圏(1,822.03ha)に徒歩圏人口約35,501人が居住しており、人口密度は19.49人/haとなります。⇒P1-56<br/>上記記載中、下線の数値は、1-56より19.48人/haが正しいのではないかと。</p>  | ご意見の通り、1-54の数値を19.48人/haに修正します。                             |

|   |      |   |  |
|---|------|---|--|
| 4 | 2-31 | <p>◆市民等が住み続けやすいまちづくり～市街化調整区域で生活し続けるという選択もありますが、利便性を求め、市街化区域へ市内移住するという選択も考えられます。</p> <p>後者の選択肢を増やすことは、生活している市民にとっても、本市に生活し続ける選択を増やすことにつながり、本市から移住してしまう人口の減少を抑制します。</p> <p>～</p> <p>上記記載中、「後者の選択肢を増やすことは、」の表現について、「市街化区域へ市内移住するという選択も考えられます。」となっていることから、手法の一つとして「後者の選択は、」の表現に留めておいたほうが良いのではないかと。</p> <p>何故ならば、2-30集約型都市構造(コンパクト+ネットワーク)の実現の中で、「本市生活者(居住誘導区域外)並びに他都市生活者における新たな居住先の選択先となることによる人口の集積化の推進」となっているが、今後市街化調整区域において、集落を形成する世帯が高齢化となり、コミュニケーションが取ることが難しくなることが見込まれるため、本計画のような市街化区域への移住を増やすことを主体とした場合は、更に空家が増え、集落形成が取れなくなり、快適に暮らせるコンパクトな都市づくりとはならないと考えられるから。</p> | <p>ご意見の通り、「後者の選択は、」という表現とします。</p>  |
| 5 | 5-13 | <p>・都市機能誘導区域の施策で位置づけた弥富駅周辺の快適で安全・安心できる空間創出とともに、その周辺における居住誘導区域内における利便性の高く良好な居住環境の整備を進めます。</p> <p>○具体的な事業<br/>■公共下水道事業の促進<br/>・民間活力を活かした開発等による整備に際しての支援を行います。</p> <p>上記記載中、「安全・安心できる空間創出」と「利便性の高く良好な居住環境の整備」となっていることから、具体的な事業に「防災公園の設置事業」を追加しても良いのではないかと。</p> <p>何故ならば1-91<br/>(3) 都市基盤・公共施設・財政等からの視点に基づく現況のまとめと課題<br/>【都市基盤・公共施設・財政等の視点からの課題】<br/>◆安全なまちづくりの実現<br/>対応方向: 日常的な生活空間における安全で安心できるまちづくり(再掲)<br/>⇒道路・公園等の生活基盤等におけるバリアフリー化<br/>万が一の災害への対応策の実施<br/>となっていることから具体的な事業を記載すべきと考える。</p>   | <p>都市計画マスタープランや上位計画である総合計画に具体的な計画の位置付けがないため、本計画に、「防災公園の設置事業」を追記することは考えておりません。</p> <p>しかしながら、防災機能を持った施設は本市としても必要だと考えるため、今後、防災方針等を策定し、具体的な計画を検討していきます。</p> |

意見募集時の公表資料

弥富市都市計画立地適正化計画(案)

閲覧場所および問い合わせ先

開発部 都市計画課都市計画グループ 電話0567-65-1111(内線272)